

短歌・俳句で綴る

御代田の四季

「短歌の会」と「御代田風の道俳句会」から寄せられた代表作品です。

短歌

散るバラはガラス細工の花のごと手触れず踏まらずがし黄の花

吉田 倉子

無言館無言に出でて散り敷けるアカシヤ落花しずしずと踏む

大池 講子

都会派の鴉の住居建材は赤青白の針金ハンガー

桑原アヤ子

俳句

当期雑詠

滴りの地を伏流し忍野かな

大高 霧海

七夕や縄文嬢の耳飾り

土屋 春雄

ひかり苔有りやと見れば滴れる

松浦 靖子

ポケットに夢とキャンディ夏休み

足立 淳

隣の子今反抗期夏休み

澤田 勝彦

熊よけに手を打ちながら苔羅漢

小林阿久里

健康に勝る幸せはない!!

Man Watching #147

- ① 生きがいは?
マレットゴルフ・ゲートボール・畑仕事
- ② おすすめの場所は?
自分の畑
- ③ 健康の秘訣は?
食生活(自然食品)
- ④ これからやりたいことは?
これからも遊び続ける
- ⑤ 今の御代田町に一言
まちの活性化を図るためにも、若者の定着が必要。



観光協会ホームページに掲載中!!

みよたん につき

<http://www.miyota.gr.jp/>



第40回信州御代田龍神まつり

龍神まつりに行ってきました!



スタンプラリーにたくさんの方が来てくれました。



応募総数302通。雨の中、参加してくださってありがとうございました。



お手紙をくれたお友だち、ありがとう。これからも応援よろしくね。

今度は小田井宿まつりに行きたいな~^^

自己紹介

御代田のレタス畑で生まれました。農家の人に育てられ、近所の畑の中を散歩しているところ、御代田町観光協会のおじさんにスカウトされました。

- 好きな食べ物
高原野菜
- 好きなこと
龍神まつり、レタスの収穫
- 趣味
やまゆりの栽培、浅間山登山
- 特技
カーリング
- 友だち
龍神くん

Let's try English!

Message FROM
Paul Wellington Harris
(中学校AET)
Vol.166



THOSE WHO SPARE THE ROD HATE THEIR CHILDREN, BUT
THOSE WHO LOVE THEM ARE DILIGENT TO DISCIPLINE THEM
— PROVERBS 13:24

A few weeks ago I was talking with some of my American friends about spanking their children. Some were against it, and some were for it.

In my case, I am for it, of course, I think physical and verbal abuse is a terrible thing and there is a strict limit between discipline and violence. My siblings and I were good children most of the time when we were growing up, but we got spanked when we needed it! Usually, my father would spank us when we did something wrong. If it was something really bad, we would get spanked by both parents! My grandparents spanked us; my aunts and uncles spanked us, too. We used to get spanked at school by our teacher or principal. Getting spanked at school was not fun, because after, the principal would call our parents. Then when we got home we got another spanking! But we always had two chances. Honestly, we were lectured more than spanked. My father use to give us really long lectures explaining why what we did was wrong and why they were upset. We usually got grounded after that, maybe no TV for a week or no phone and no video games. One thing I remember growing up is that my mother and father never yelled at us or raised their voice. But, if we did the same thing again after our lecture, then we got spanked—No yelling, no questions! Because we already knew what we did was wrong.

These days, spanking has a negative image. But I think it is a healthy form of discipline. Spanking done in anger or impulse is not discipline!! Many younger parents these days are saying they won't spank their children. There is an English expression that comes from the bible that says, "Spare the rod, and spoil the child." I thank and love my parents, relatives, and my teachers for teaching me about discipline and respect, how to act in society, and the boundaries of right and wrong.

何週間か前に、僕はアメリカ人の友だちと子どもたちのお尻を叩くことについて話しました。何人かは反対しましたが、何人かは賛成しました。

僕はどちら側かというと、もちろん賛成です。体罰や言葉の悪用は、しつけと暴力の間に厳しいリミットがあると思います。僕と兄弟たちは、成長過程では良い子でしたが、必要とあらばお尻を叩かれました。大抵僕たちが何か悪いことをしたときには、父親にお尻を叩かれました。本当に悪いことをしたときには、両親にお尻を叩かれました。僕の祖父母もお尻を叩きましたし、叔父や叔母にだってお尻を叩かれました。学校では先生や校長先生にだってお尻を叩かれました。学校でお尻を叩かれたら最悪です。なんて言っただって校長先生は両親に電話しますから。それから家に帰ってまたお尻を叩かれるのです! でもいつも2つのチャンスがありました。本当を言うと、お尻を叩かれる前には長いお説教がありました。僕の父は何で僕たちがやったことがいけなくて、どうして両親が怒っているのかという説教をしました。その後には罰があって、一週間テレビなしとか、電話を使っちゃダメとか、ゲームをしてはダメというものでした。僕が覚えていることは、父と母は怒鳴らないし、声も荒げなかったことです。でも、もう一度同じことをしたら、怒鳴られたりする代わりにお尻を叩かれました! なぜなら、すでに僕たちは悪いことをしてしまったということが、分かっているからです。

最近はお尻を叩くのは何だかネガティブなイメージになっています。でも僕は、それはしつけの健全な形だと思っています。怒りにまかせてお尻を叩いたりするのは決してしつけではないと思うのです!! 若いお父さんお母さんは、最近子どものお尻を叩かないと言っています。聖書から引用された英語のことわざにこんな言葉があります。「子どもは甘やかすとダメになる」僕は敬意をもってしつけをしてくれ、善悪の区別を教えてくれた両親、親戚に感謝します。

※表題は旧約聖書 箴言13章24行を引用しています。